

# 令和元年度(2019年度)第1回知床世界自然遺産地域連絡会議

## 議事概要

令和元年(2019年)10月23日(水) 13:30 ~ 15:30  
羅臼町商工会館(2階ホール)

## 議事次第

1. 環境省・林野庁・北海道事業の報告・予定
2. 科学委員会からの報告
3. シンボルマーク部会からの報告
4. その他

●開会挨拶（北海道環境生活部生物多様性保全課自然公園担当課長）

●湊屋羅臼町長ご挨拶

●田邊環境省釧路自然環境事務所長ご挨拶

議事 1. 環境省・林野庁・北海道事業の報告

■資料 1－1：令和元年度 環境省・林野庁・北海道事業の報告・予定

… 環境省、林野庁、北海道より説明。

斜里第一漁業協同組合（馬場）

資料 1－1 NO15「サケ科魚類遡上状況調査」で今年のサケマスの回帰状況については前年の 130%と出ていたがうちの組合は 73%程度、また、羅臼側でも遡上が見られない状況の中で北方四島での状況が分かれば伺いたい。

知床世界自然遺産地域科学委員会委員長（桜井）

日本海と太平洋の海域の海水温の変化はかつてない異常と言える。日本海側ではイカの 3割が日本に 7割が韓国へ行き、いつもの状況とは逆の現象がある。太平洋側の道東から知床半島にかけての海水温は昨年より 4～5℃高い。道東から日高にかけても海水温が高い状況。北方四島ではこの 3年間での海水温の変化は見られないため、サケは北方四島までは戻れる環境にはあるが、海水温関係を見る限り今年は異常高水温の特異年と言える。

斜里町長（馬場）

択捉周辺では獲れているとの情報を聞くが、そこまでは例年どおり戻ってきているが知床まで来ないのはそこで大量に獲られているのか？の因果関係を伺いたい。

また、知床五湖の地上遊歩道再整備は引き続きよろしくお願ひしたい。長年の改修要望をしていた知床峠の展望広場も綺麗になっているのを本日見てきたところ。

知床世界自然遺産地域科学委員会委員長（桜井）

10月中旬で択捉の海水温は 9℃、知床半島は 12～13℃（昨年は 10℃）今年は来づらいつ言える。襟裳や青森、岩手でも昨年の 3割程度とのことで今年の異常高水温の影響があると言える。

■資料 1－2：「H30 シカ年度」エゾシカ対策事業結果

… 環境省、林野庁、北海道より説明。

■資料 1－3：令和元年度 斜里町・羅臼町のヒグマ目撃・対応状況について

… 知床財団より説明。

※【質問・意見なし】

## 議事 2. 科学委員会からの報告

■資料 2-1 : 令和元年度第 1 回知床世界自然遺産地域科学委員会報告

■資料 2-2-1 : 令和元年度科学委員会・ワーキンググループ等の予定

… 環境省より説明。

■資料 2-2-2～2-2-5 : 各ワーキンググループ等の検討状況等について

… 環境省、林野庁、北海道より説明。

### 知床世界自然遺産地域科学委員会委員長（桜井）補足説明。

科学委員会では、ヒグマとトドに関して大きな課題となっている。トドに関する IUCN への回答については関係省庁と連絡を取りながら進めている状況、ヒグマは斜里町側と羅臼町側での課題が異なっており科学委員会では提案程度の対応しかできない状況。ヒグマを資源としながらも共存していくための個体数管理についてもっと踏み込んだ議論を地元行政と科学委員会の各ワーキンググループのメンバーが行える枠組みを作っていくべきと考える。

### 環境省（渡邊）

知床半島の利用のあり方について 2 年間地元関係者等と議論をしてきた。その中でもヒグマ問題についてシャトルバスの利用により軋轢を緩和できるという案も出されているが、登山者やホテル利用者、五湖の駐車場事業団体への影響、利用者全体の減少の懸念もあるため、慎重に地元関係者と調整を図る必要があると考える。

### 環境省（松尾）

地元行政、環境省、林野庁、北海道、知床財団で構成している「ヒグマ対策連絡会議」が定期的（年 2 回）に行われていることから、ヒグマ問題についてはこの会議で議論を進めるものとする。

■資料 2-3-1～2-3-2 : 知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画について

■資料 2-4 : 第 4 3 回世界遺産委員会決議（知床）和文（仮訳）

■資料 2-5 : 令和元年度日露隣接地域における生態系保全協力に関するプログラム事業について

… 環境省より説明。

### 羅臼漁業協同組合（竹田）

資料 2-4「第 4 3 回世界遺産委員会決議（知床）和文（仮訳）」の p 3 の 8 に記載があるとおおり、2020 年 12 月 1 日までに報告書の要請がされているが、報告書作成していくまでの今後のスケジュール等を伺いたい。

### 北海道（澤井）

環境省、水産庁、北海道、海域ワーキングの委員等を含め調整をしているところ。本日もこの会議後と 12 月にも打合せを行い、2 月の海域ワーキングまでには素案を作成していく予定であるが、随時進捗状況は報告したい。

### 知床世界自然遺産地域科学委員会委員長（桜井）補足説明。

トドは水産庁が管轄しており根室海峡におけるトドの取り決めも水産庁が担っている。それを補っているのが北海道連合海区漁業調整委員会である。このため、IUCN への責任ある回答書を作成していくためには水産庁が関わるのが重要であるため、現在その調整をしているところ。

### 議事 3. シンボルマーク部会からの報告

■資料 3 : 令和元年度シンボルマーク使用申請許可状況等について

… 知床財団より説明。

※【質問・意見なし】

### 議事 4. その他

■資料 4 : 野生動物観光促進事業

… 環境省より説明。

※【質問・意見なし】

■資料 5 : 知床世界自然遺産地域連絡会議設置要綱

(令和元年 10 月 23 日 一部改正)

… 北海道より説明。

※【質問・意見なし】

#### ウトロ地域協議会 (桑島)

海岸線の漂着ゴミは知床半島全体に多く見られる。ウトロ自治会では47年前から「ゴミ護美大作戦」活動で街中を綺麗にしているが、遠い海岸線まではなかなか手が回らない状況。世界自然遺産地域のクライテリアを維持していくためには、漁網等の漂着ゴミを何とかしていかないといけないため、期限を設けて対策を進めて行くことが必要と思っている。

#### 環境省 (渡邊)

先日も地元行政を含め漁協や各団体、ボランティアによるルシャの海岸清掃を実施したところ。この活動も2004年度から行っている。過去には環境省事業で大々的に重機も使用し清掃を行ったこともあるが2~3年でまた元に戻り、なかなか効果的な対策とならないと感じている。プラスチックゴミや海洋ゴミ問題は世界的な問題なので、環境省では「プラスチックスマート」キャンペーンを実施し、削減に向けた取り組みを進めているところ。

#### 北海道 (澤井)

知床の日のPRとして新しくクリアファイルとポスターを作成したので、掲示して頂ける機関・団体がありましたら申し出願います。

#### 斜里町長 (馬場)

ヒグマ対策について、「観光客は見たい」という要望を持っており、それに応えることも観光面では必要。ヒグマ対策として初期遭遇対応の重要性との報告があったが、国道での電光掲示板による啓発や住民のゴミ出しマナーについても少しずつ変えていく意識が重要と感じている。また、道徳やマナーだけでは限界があるため事故なく楽しんでもらうためには、法律等による規制も必要となるが、これについても決定打とならない時には物理的な対策としてシャトルバス等の方法も考えて

いくことになるが、ヒグマとの事故があってからでは遅いため、早急な対応を国として進めてもらいたい。条例は町でも作れるが国の法規則を検討いただきたい。また、知床五湖利用調整地区での冬期のエコツアーを実施しているところだが、通年して安心して楽しめる場所として制度内容を見直していただけるよう努力していただきたい。さらに利用地域（知床五湖）が集中しないよう分散利用を進めて行くためにも、今後も引き続きご支援をお願いする。

#### **環境省（田邊）**

現行の法律で利用規制していくのは難しい部分が多い。どこの機関がどの法律で規制できるのかは、関係する機関で意見交換しながら進める必要がある。冬期の利用調整地区についても懇談会の場で関係者の意見をまとめていければと考えている。分散利用についても全国の多くの国立公園で起きている共通の問題であるが、その地域により事情が異なることからどのような方法が良いか地元関係者と意見交換をしていければと考えている。ヒグマ対策については人身事故が起きてからでは遅いという認識ではあるが、どのような方法や対策ができるかこれまでもヒグマ対策に尽力されている知床財団の経験やノウハウを生かしながら知恵を出し合いながら進めて行きたい。

※ 他に報告・意見等が無いため、本日の会議を終了する。